



第43回

東京大学医学教育セミナー

「参加型臨床実習を実現するために」

モデル・コア・カリキュラムが策定されて10年以上が経過した。日本の各医学部の卒業生が米国への臨床留学を実現するためには、2023年以降、各医学部が国際認証を受けていなければならなくなった。この国際認証の最大のハードルが、参加型臨床実習の実質化であろうと言われ、現在の医学部教育改革の一番の目玉になりつつある。今回の講演では、参加型臨床実習を実現するためのポイントを、特に組織運営という観点から述べたい。



大西 弘高

東京大学
医学教育国際協力研究センター 講師

2012年3月14日(水) 18:00~19:30

東京大学医学部図書館3階 333会議室

問い合わせ先

東京大学医学教育国際協力研究センター

担当:大西・三浦

TEL:03-5841-3583 / E-mail: ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp

URL: www.ircme.u-tokyo.ac.jp

※配布資料準備の都合上、出席をご希望の方は事前にご連絡をお願いいたします。

ただし、当日受付も歓迎いたします。

